



習癖

前回1月号で悪い歯ならびについて特集しましたが今回はその原因についていくつかあげてみました。

実は歯ならびが悪い子供やむしばの多い子供は小さい時からハイヒールとスリッパを履かされて育てられているのと同じで顔の変形や、姿勢の変化、偏頭痛や肩こりなどという症状が出てくる可能性があります。下記のような悪習癖は注意が必要です。

指しゃぶり

幼児の指しゃぶりは3歳までは生理的な行動力の1つと考えられますがそれ以上になると歯や開咬の原因になります。4歳くらいまでしたらやめた方がよい理由をお子様にご説明し本人の自覚に訴えてやめさせるのが最も効果的です。

唇を咬む

上唇をかむ：顎を前へ突き出すので「受け口」になる事があります。
下唇をかむ：上顎を前に突き出すので「出歯」になる事があります。

ハンカチ・タオル・えんぴつを咬む

度を過ぎると指しゃぶりと同じように悪い歯ならびの原因になることがあります。

ほおぐえ

ほおぐえをついている事が多いと「かみ合わせがゆがんだり」する原因になることがあります。

口で息をする

本来鼻で行うべき呼吸を口で行うため口の中が乾燥し、むし歯になりやすくなります。口を開けたままの状態が長いので、唇の周りの筋肉が働かない事により「出歯」の原因になります。鼻炎等をもっている子どもに多くみられますがこれを理由に口での呼吸を行なわせないようにしてください。

爪かみ

2~3歳頃から始まり6歳頃までに多い爪かみや指先の皮膚をかむ癖は「前歯の摩擦」や「出歯」、前歯の先端だけががつかう「切端咬合」の様歯ならびの原因になります。



上顎前突 (出歯)



開咬



反対咬合 (受け口)



かみ合わせのゆがみ



切端咬合

※不正咬合の詳細情報は2008年1月号をご覧ください。



2月の診療日/休診日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	

診療時間 10:00~20:00 (昼休みなし)
(土曜日~16:00)